

前立腺がんに対する外照射を併用した高線量率組織内照射療法の 多施設共同遡及的観察研究

研究のご説明

前立腺がんは近年急激に増加している病気で、将来も増え続けることが予想されています。放射線治療は前立腺がんに対して非常に有効な治療法の一つですが、当院で行っている高線量率組織内照射(HDR)は、放射線治療の中で特に効果が高いことが期待されている方法です。日本ではHDRを使用して治療を行っている施設が当院の他にも数施設ありますが、これまで共同でHDRの治療結果を検証したことはありません。国立がん研究センターはよりよい医療を提供するため、病気の診断や治療法の改善を常に目指しています。放射線治療科では全国のHDRを使用している施設と協力して、HDRの後ろ向き研究(今までの治療のデータを解析する研究)を実施します。

【研究の概要】

研究題名 : 前立腺がんに対する外照射を併用した高線量率組織内照射療法の多施設共同遡及的観察研究

研究期間 : 研究許可日から2017年12月31日

実施責任者: 北里大学医学部放射線科(放射線腫瘍学) 講師 石山博條

当院における実施責任者: 国立がん研究センター中央病院 放射線治療科 伊丹純

【対象となる方】

2003年11月1日から2013年9月30日の間にすでに国立がん研究センター中央病院で前立腺がんに対する高線量率組織内照射を受けた方。

【研究の意義】

前立腺がんに対するHDRの長期治療成績を全国の施設と共同で解析することで、将来より優れた治療法を開発するための基礎データを構築することができます。また現在のHDRをより副作用が少なく安全な治療にするためには、この研究により副作用の原因を科学的に解明することが必要です。

【研究の目的】

HDR後の非再発生存率、副作用発生率を求めます。

【研究の方法】

これまでの治療でカルテに保存されているデータを収集して行う研究です。本研究は、当院の研究倫理審査委員会の承認を得ております。この研究は、ヘルシンキ宣言および「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を遵守します。

【費用について】

新たにご負担いただくことはありません。

【予測される結果(利益・不利益)について】

該当する方の現在・未来の治療結果には全く影響を与えませんし、不利益を受けることもありません。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、不利益をこうむることはありません。

【個人情報の保護について】

解析にあたっては、個人情報は匿名化し、その保護には十分配慮します。学会や論文などによる結果発表に際しては、個人の特定が可能な情報はすべて削除されます。

【データの二次利用について】

本試験で得られたデータについては、倫理委員会の審査を経て承認された場合に限り、個人識別情報とリンクしない形で二次利用することがあります。

【研究協力の任意性と撤回の自由について】

この研究に関して不明な点がある場合、あるいはデータの利用に同意されない場合には、2016年2月末までに以下にご連絡下さい。

【問い合わせ等の連絡先】

当院での問い合わせ先

国立がん研究センター中央病院 放射線治療科 伊丹純

郵便番号 104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

TEL: 03-3542-2511

研究代表者の問い合わせ先

北里大学病院放射線治療科 講師 いしやま ひろみち 石山 博條

〒252-0374

神奈川県相模原市南区北里 1-15-1

TEL: 042-778-8453